

第9回ERAB検討会 前回（第8回）の振り返り

2019年3月19日
資源エネルギー庁
新エネルギーシステム課

第8回ERAB検討会の議題と討議内容

OpenADR WGからの報告

報告内容

- 機器別実装ガイドラインの改定に向けて、アンケートの実施結果など、検討状況について報告。
- ディマンドリスポンス・インターフェース仕様書の改定に関する基本方針の検討状況について報告。
- OpenADRの国際標準化の動向に関する進捗状況について報告。

決定内容

- 引き続き、上記について検討を進めていく。

ECHONET Lite WGからの報告

報告内容

- 太陽光発電(PCS)をVPPのリソースとして制御するために必要となるECHONETプロパティの拡張案について報告。
- HEMSコントローラをVPPで活用するために必要となる仕様案の検討状況について報告。
- マルチ入力PCSをVPPのリソースとして制御するために必要となるECHONETプロパティの検討状況について報告。

決定内容

- 太陽光発電（PCS）については、策定した拡張案に基づき作業を行っていく。
- 引き続き、その他2点について検討を進めていく。

サイバーセキュリティWGからの報告

報告内容

- 送配電事業者の中央給電システムと簡易指令システムを接続する仕組みなど、検討状況を報告。
- サブワーキンググループ（SWG）の設置及び検討項目等について報告。

決定内容

- SWGを設置し、引き続き上記について検討を進めていく。

第8回ERAB検討会の議題と討議内容

制御量評価WGからの報告

報告内容

- ネガワット調整金の考え方について、検討状況を報告。
- アグリゲーターと小売電気事業者の情報共有について、検討状況を報告。
- ベースラインの設定方法（当日補正により需要がマイナスとなる場合、最小の需要日が複数ある場合、設定除外日の取扱い）について、検討状況を報告。

主なご意見（ネガワット調整金について）

- DRにより発生する小売電気事業者の事務コストは考慮していただきたい。
- 現時点ではガイドライン上の計算方法を一つに絞らず、複数の選択肢を例示すべき。
- 独立系アグリゲーターも含めて競争条件を公平にすることがDRを推進するために重要である。
- 調整金契約の契約書ひな型を用意することにより、契約事務コストを削減することは非常に有意義。
- 調整金は、小売電気事業者とアグリゲーターの利益配分をどうするのが適切かという問題であり、事務局へ新たなデータを提供していただき、WGで引き続きご検討いただきたい。

決定内容

- 引き続き、ネガワット調整金の考え方については検討を進めていく。
- その他2点については上記の方針で検討を進めていく。

第8回ERAB検討会の議題と討議内容

VPP構築実証事業の進捗状況（2018年度予算事業概要、2019年度概算要求概要）

報告内容

- 2018年度のVPP構築実証事業の概要について説明。
- 2019年度のVPP構築実証事業の予算要求概要について説明。

主なご意見

- V2Gは今後多くのリソースの導入が見込まれるためVPP全体としては非常に有意義。一方で、充放電を頻繁にすることでEV自体の走行距離が短くなるため、経済性の観点からの評価が必要。その意味で、蓄電池の残存性能を公正に評価する手法の確立については非常に有用である。

その他

報告内容

- 住宅用太陽光発電設備のFIT買取期間終了に向けた対応について説明。

主なご意見

- 卒FITによって家庭用蓄電池の導入は大きく進むと想定されるため、VPPとして使用可能なリソースを普及していく必要があるが、JET認証や蓄電池メーカーの開発、送配電事業者の逆潮流受け入れ準備などの作業を考え、早急に対応をお願いしたい。
- 低圧需要家は数が多く、理解を得るために事業者が丁寧に説明を行う必要がある。過去の経験から手続きには相当の時間がかかるため、可能であれば事前に情報提供をお願いしたい。